

北西太平洋の熱帯低気圧の呼び名の変更

—台風のアジア名—*

永田 雅**

1 はじめに

西暦2000年の台風1号から、これまでの英語の呼び名に代わって台風にアジア名がつけられることになった。気象庁でも国際的な情報交換には、国際共通番号と合わせてこのアジア名を用いる。一方、国内の一般向けの情報ではこれまで通り、その年の通し番号のみを使用する予定である。ここでは、アジア名が採用されるまでの経過とその内容について紹介する。

2 現在の台風の呼び名

北西太平洋と周辺海域(0°N~60°N, 100°E~180°Eの範囲)の熱帯低気圧(台風)については、気象庁が、世界気象機関(WMO)からの付託を受けた「熱帯低気圧に関する地域特別気象センター(RSMC)」(RSMC Tokyo-Typhoon Center)として、解析・予報など国際的な情報を作成し発信する責務を負っている。一方、この領域では、米国海・空軍合同台風警報センター(JTWC, グアムから現在はハワイに移転)も独自に台風の解析と予報を行っている。JTWCは、大西洋と140°W以東の北東太平洋をRSMC責任領域として受け持つ国立ハリケーンセンター(NHC, マイアミ)と同じく、伝統的に熱帯低気圧に英語名(交互に男・女の人名)を付けている。これらが国際的な報道の分野から学術論文まで広く流通している。

気象庁でも国際用の一部の予報、情報、資料には国際共通番号(西暦年号下2桁とその年の始めからの通し番号2桁を合わせた計4桁の数字)と併記する形でJTWCが付けた英語名を用いてきた。一方、国内向け

の情報等では「台風第XX号」(XXはその年の始めからの通し番号)という呼び方をして、英語名は使用していない。

3 アジア名採用の経過

アジア名の利用が提案されて、基本的に採用が決まったのはESCAP[†]/WMO台風委員会という組織の第30回会合(1997年11-12月香港で開催)である。ここで、台風委員会というのは1968年に設立された政府間組織のことで、カンボジア、中国、北朝鮮、香港、日本、ラオス、マカオ、マレーシア、韓国、フィリピン、シンガポール、タイ、米国、ベトナムの12か国2地域で構成され、様々な分野の協力を通じて台風による災害を軽減することを主な目的としている。

台風のアジア名が目指すところは、2つ挙げられている。1つは国際社会への情報に台風委員会が決めた名前をつけてそれを利用してもらうこと、もう1つは、英語の人名ではなくて、アジアの人々になじみのある呼び名をつけることによって人々の防災意識を高めることである。

2つの目標のうちの後者は、自国に影響する台風に独自の命名を行っているフィリピンの経験に基づいている。しかし、台風に命名を行う発生の段階では、その台風が影響する国や地域を特定するのは難しいし、複数の国や地域に影響を及ぼす台風も多い。また、途中で名前を変えることは混乱や誤解の元になるので好ましくない。このため、1つの国の中での経験を、台風委員会加盟国・地域全体にそのまま応用することには無理がある。むしろその意義は、2つの目標のうちの前者から分かるように、アジア各国・地域の文化の尊重と連帯の強化、相互理解の推進にあり、アジア名はこれらを象徴するものとして理解することができる。

* Names for tropical cyclones in the western North Pacific will soon be changed.—Adoption of Asian names—

** Masashi Nagata, 気象庁予報課太平洋台風センター。

© 1999 日本気象学会

[†] アジア太平洋経済社会委員会

第31回の会合（1998年12月マニラで開催）では、加盟各国・地域が提出した具体的な台風の呼び名が基本的に採択された。また、命名については、この領域の熱帯低気圧に関する情報提供に責任を持つ地域特別気象センター（RSMC）である日本の気象庁が行うこと、2000年の最初の台風から実施することが決められた。

米国はそれまで台風委員会にはオブザーバの立場で参加していたが、この機会に委員会に加盟した。そして、JTWCは2000年の最初の台風から独自の英語名を付けることをやめ、台風委員会の決定に基づいて気象庁が命名するアジア名を用いる方針を表明している。

4 アジア名のリストと使用についての取り決め

4.1 リスト

採択された呼び名のリストを第1表に示す。台風委員会加盟各国・地域（以後メンバと呼ぶ）ごとに10個の呼び名の枠がある。この枠は、メンバのほかにミクロネシア連邦にも与えられている。なお、シンガポールはメンバであるが台風の名簿を提出しなかったため枠がない。リストには、1群(column)について28個、5群で計140個の枠がある。各群ごとに、それぞれのメンバに2つずつの枠を与えられており、メンバ国・地域名のアルファベット順に2度繰り返して並べられている。

呼び名は、文字数が多過ぎないこと（9文字以内）、音節が多くなくて発音しやすいこと、他の加盟国・地域の言語で感情を害するような意味を持たないことを統一基準として提案が行われた。わが国からの提案は、流通に伴う利害や気象情報の誤解を生じないようにするため、特定の個人・法人の名称や商標、地名、天気現象名などを避け、なるべく「中立的な」名称を選ぶように配慮し、全て星座名にした。星座は、「自然」の事物であって比較的利害関係が生じにくいことと、大気現象である台風とイメージ上の関連がある天空にあって、かつ、人々に親しまれていることが主な提案理由である。

なお、表中のカナ表記は、現地の人々の発音が日本人にどのように聞こえるかを調べてそれに基づいて決めたもので、気象庁が国内でアジア名をカナ書きで使う時には原則としてこれを用いることになっている。

4.2 使用規則

2000年の最初の台風には、第1群の始めの呼び名（Damrey）を付ける。以下順に付けていって、第1群の最後（Trami）の次は第2群の初め（Kong-rey）に

移動する。こうして第5群の最後（Saola）まで付けると、再び第1群の始め（Damrey）に戻り、以下同様にして繰り返す。新しい年になっても群をあらためることはせず、前年の続きの呼び名を順次付けることになっている。

4.3 改訂

このリストの有効期限は示されていないが、台風委員会で見直しの必要があるかどうか定期的に協議することになっている。また、例えば非常に大きな災害をもたらした台風の呼び名をリストから外すことなどについて、メンバから提案があった場合は、同じく協議の上で呼び名を変更することができる。

改訂が行われない場合、発生数が気候平均値（27.8個/年）に近い値で推移すると、おおむね5年後に同じ呼び名の台風が現れることになる。

5 自国内での独自名称の利用と気象庁の対応

各メンバは自国・領域内での使用に限定して、独自の名称を用いてもよいことになっている。日本では、国内向けの情報等で用いている「台風第XX号」という呼び方が各分野に幅広く浸透して定着していることから、気象庁は国内向けにはこれを踏襲することにした。

今回の変更は、台風の呼び名の決定方法がJTWC単独のものから台風委員会加盟国・地域の合意に基づくものになるだけである。従って、気象庁では、台風の発生を解析した時点でアジア名のリストに基づいて自ら命名を行うことになるという点が変わるだけで、台風の呼び名の記述方法などは変わらない。つまり、国際向けの情報等ではこれまで通り、国際共通番号と呼び名の組み合わせを用いる。ただし、その呼び名としては、これまでJTWCが命名してきた（英語の）人名に代わって、2000年の台風1号からは、台風委員会の合意に基づいて気象庁が命名するアジア名が記されることになる。

6 その他

6.1 境界を越える熱帯低気圧

日本と米国の間には、両者の責任領域の境界である日付変更線を越えて移動する熱帯低気圧について、最初に付けた呼び名を変えないという合意がある。北太平洋の日付変更線の東側の米国の責任領域で発生した（最大風速34 kt以上の）熱帯低気圧には米国（JTWCまたは国立ハリケーンセンター（NHC、マイアミ））が

第1表 台風委員会で採択された台風の呼び名のリスト.

飛出メンバー 1. カンボジア	I			II			III			IV			V		
	呼名	片仮名読み	意味	呼名	片仮名読み	意味	呼名	片仮名読み	意味	呼名	片仮名読み	意味	呼名	片仮名読み	意味
Damrey	ダムレイ	象		Kong rey	コンレイ	伝説の少女の名前	Nakri	ナクリ	花の名前	Krovahn	クロヴァン	木の名前	Sarika	サリカー	さえずる鳥
Longwang	ロンワン	龍の王		Yutu	イートウ	民謡のうさぎ	Fengshen	フンシェン	風神	Dujuan	ドゥジュエン	つづじ	Haima	ハイマー	タツノオトシゴ
Kirogi	キロギー	かも(鴨)		Toraji	トラジー	人知れず咲く美しい花	Kalmaegi	カルマエギ	かもめ	Maemi	マエミー	せみ	Meari	メアリー	やまびこ
Kai-tak	カイタク	啓徳(旧空港名)		Mam-yi	マンニイ	海峡の名前	Fung-wong	フンウォン	山の名前(フエニッククス)	Choi-wan	チョーイワン	彩雲	Ma-on	マーゴン	山の名前(馬の鞍)
Tembin	テンビン	てんびん座		Usagi	ウサギ	うさぎ座	Kammuri	カンムリ	かんむり	Koppu	コップ	コップ座	Tokage	トカゲ	とかげ座
Bolaven	ボラヴエン	高原		Pabuk	パブク	大きな淡水魚	Phanfone	ファンフォン	動物	Katsana	カツサナ	木の名前	Nock-ten	ノックテン	鳥
Chanclu	チャンチャー	真珠		Wutip	ウティップ	ちよう(蝶)	Vongfong	ヴォンフォン	すずめ蝶	Parma	パーマ	理の名前	Muifa	ムイファー	すもも
Jelawat	ジェラワット	淡水魚		Sepat	セパット	淡水魚の名	Rusa	ルサー	しか(鹿)	Melot	メル	ジャスマミン	Merbok	メルボック	鳥の名前
Ewiniar	イーウイニヤ	嵐の神		Fitow	フィートウ	花の名前	Sinlaku	シンラコク	伝説上の神	Nepartak	ネパタク	有名な戦士の名前	Nannadol	ナンマドール	有名な遺跡の名前
Bills	ビルリス	スピード		Danas	ダナス	経験すること	Hagupit	ハグピート	むち打つこと	Lupit	ルピット	冷酷な	Talas	タラス	鯨
Kaemi	ケামী	あり(蟻)		Nari	ナリー	花	Changmi	チャンミー	ばら	Sudal	スーダエ	かわうそ	Noru	ノルー	のろしか(鹿)
Prapiroon	プラピールン	雨の神		Vipa	ヴィーパ	女性の名前	Megkhla	メグーラ	雷の天使	Nida	ニーダ	女性の名前	Kularb	クララブ	ばら
Maria	マリア	女性の名前		Francisco	フランシスコ	男性の名前	Higos	ヒーゴス	いちじく	Omais	オーマイス	徘徊	Roke	ロウキ	男性の名前
Saomai	サオマイ	金星		Lekima	レキマー	果物の名前	Bavi	バービー	ベトナム北部の山の名前	Conson	コンソン	歴史的な観光地の名前	Sonca	ソンカー	さえずる鳥
Bopha	ボーフア	花		Krosa	クローサ	鶴	Maysak	メイサク	木の名前	Chanthu	チャントウ	花の名前	Nesat	ネサット	漁師
Wukong	ウーコン	(孫)悟空		Haiyan	ハイエン	うみつばめ	Haishen	ハイシェン	海神	Dianmu	ディアンム	雷の母	Haitang	ハイタン	野生リンゴ
Sonamu	ソナム	松		Podul	ポードル	やなぎ	Pongsona	ボンソナ	ほうせん	Mindule	ミンドゥル	たんぽぽ	Nalgae	ナルガエ	つばさ
Shanshan	サンサン	少女の名前		Lingling	レンレン	少女の名前	Yanyan	ヤンヤン	少女の名前	Tingting	ティンティン	少女の名前	Banyan	バンヤン	木の名前
Yagi	ヤギ	やぎ座		Kajiki	カジキ	かじき座	Kujira	クジラ	くじら座	Kompasu	コンパス	コンパス座	Washi	ワシ	わし座
Xangsane	シャンセン	象		Faxai	ファクサイ	女性の名前	Chan-hom	チャンホン	木の名前	Namtheun	ナムセウ	ナムセウ座	Matsa	マツア	魚の名前
Bebnca	バベンカ	プリン		Vamei	ヴァーメイ	陽気なつぐみ	Linfu	リンフア	はず(蓮)	Malou	マールウ	めう(鵜)	Sanvu	サンヴ	さんご(珊瑚)
Rumbia	ルンビア	サゴヤシ		Tapah	ターフア	淡水魚	Nangka	ナンカー	果物の名前	Meranti	メルラニ	木の名前	Mawar	マウアー	ばら
Soulik	ソーリック	伝統の酋長称号		Mitag	ミートク	女性の名前	Soudelor	ソウデロア	伝説上の酋長	Rananim	ラナニム	「こんばら」	Guchol	グチャオル	うこん
Cimaron	シマロン	野生の牛		Hagibis	ハギビス	すばやい	Imbudo	インブド	淵斗(じょうこ)	Malakas	マラカス	強い	Talim	タリム	鋭い刃先
Chebi	チェビー	つばめ(燕)		Noguri	ノグリー	たぬき	Koni	コーニー	鋭く鳴き声をあげる白鳥	Megi	メギー	魚	Nabi	ナービー	ちよう(蝶)
Durian	ドリアン	果物の名前、ドリアン		Ramasoon	ラムスーン	雷神	Hanuman	ハヌマン	戯曲の中の猿	Chaba	チャバ	ハイビスカス	Khanun	カーヌン	果物の名前、ハラミ
Utor	ウトア	スコールライン		Chataan	チャターン	あめ(雨)	Etau	エータウ	嵐	Kodo	クード	霧	Vicente	ヴェセン	女性の名前
Trami	チャーミー	花の名前		Halong	ハロン	湾の名前	Vamco	ヴァムコー	ベトナム南部の川の名前	Songda	ソングダー	北西ベトナムにある川の名前	Saola	サオラー	最近見つかった動物の名前

命名し、それが日付変更線を越えて東経域に入っても日本の気象庁は米国の付けた呼び名をそのまま用いる。逆に台風が日付変更線を西から東に越えて西経域に入った場合も同様で、米国は日本の気象庁が付けた呼び名をそのまま用いる。

6.2 学術論文での呼び名

本来、学術論文で熱帯低気圧にどのような名称を用いるべきかということは、気象業務における呼び名とは別の次元の話である。しかし、実際には気象業務を実施する機関と学会との間に幅広い交流があるので、なるべく共通の名称を用いた方がお互いに便利なのが多いはずである。

最近の使用例を見てみると、米国気象学会の論文誌での熱帯低気圧の呼び方としては、(英語の)人名と年号の組み合わせが用いられることが多い。一方、日本

気象学会の論文誌「気象集誌」では、人名と年号の組み合わせ、国際共通番号と人名を併記しているもの、国際共通番号のみのものなど、まちまちである。

国際共通番号には年号の情報が含まれているのでそれだけで台風を同定することができる。また、その年の台風の通し番号の部分の大小によって大まかな季節を推測することも不可能ではない。一方、(英語の)人名やアジア名は、持っている情報量は少ないが、数字だけの並びに比べてより印象に残りやすいという利点がある。

2000年以降、外国の論文誌や国際的な報道の分野での北西太平洋の台風の呼称としては、アジア名が広く使われることが予想される。この機会に、日本の論文誌でも共通の呼称としてのアジア名を、国際共通番号と併記して用いるようにしてはどうだろうか。



教官（東京大学大気海洋科学グループ）の公募

東京大学 大学院理学系研究科では平成12年度から既存4専攻を改組し、新しく地球惑星科学専攻を発足する準備を進めています。このことに関連し大気海洋科学グループでは以下の公募を行うことになりましたのでよろしくご願ひ申し上げます。

公募人員と研究教育分野：

- A) 助教授 1名 (気象力学, 大気大循環, メソ気象などいわゆる気象学を中心とした分野)
 B) 教授または助教授 1名 (大気海洋の物質循環や組成変動などを中心とする分野)

応募資格：博士の学位を有し、当該分野の研究と学部および大学院教育に情熱を有すること。

着任時期：平成12年4月1日を希望

提出書類：

- 1) 応募研究教育分野 (A) または B) を明記)
- 2) 略歴書 (学歴と職歴)
- 3) 業績目録 (査読論文とそれ以外の総説, 著書など

に分類)

- 4) 主要論文別刷 (コピー可) 5編以内
- 5) 研究教育業績の概要 (A4版用紙一枚に要約)
- 6) 今後の研究計画と抱負 (A4版用紙一枚に要約, ただし推薦の場合は不要)
- 7) ご本人が応募される場合には所見を伺える方2名の氏名と連絡先, 適任者をご推薦いただける場合には推薦状。

応募・推薦の締め切り：平成11年12月6日 (月) 必着
書類提出先：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院理学系研究科
 地球惑星物理学専攻事務室

問い合わせ先：東京大学大学院理学系研究科

地球惑星物理学専攻

大気海洋物理学講座 教授 山形俊男

Tel : 03-5841-4297 FAX : 03-3818-3247

E-mail : yamagata@geoph.s.u-tokyo.ac.jp